



情報誌  
2022.11

伊丹市立男女共同参画センター ここいろ は  
性別にかかわりなく、  
個性と能力が発揮できる社会づくりの拠点施設です。  
誰もが気軽に訪れ、学び、交流できる、  
地域に開かれた男女共同参画センターを  
目指しています。

[https://  
www.itami-  
kokoiro.jp](https://www.itami-kokoiro.jp)



# 「宗教とジェンダー」

源 淳子さん

今年の一大事件に挙げられるのは、7月8日の安倍晋三元首相の銃撃殺害事件です。事件がおこったのが、わたしが住んでいる木津川市に隣接する奈良市であり、近鉄大和西大寺駅はよく利用する駅なので、その衝撃は大きかったです。お昼近く、ニュースを観ようとつけたテレビの前からしばらくは離れることができませんでした。

事件をおこした山上徹也容疑者の供述によると、彼の母親が「世界平和統一家庭連合」(以下「旧統一教会」)にのめり込み、家庭が崩壊した恨みを、旧統一教会と関係が深いとみた安倍元首相をねらったということになっています。その後、事態は一気に旧統一教会と政治家との関係の問題に展開しました。

政治と宗教の問題は、日本国憲法に則らなければなりません。憲法は、政教分離と信教の自由を守るためにあります。ただ、宗教は公共空間における役割(宗教団体が政治に格差の是正を求めたり、核廃絶を求めるなど)は認められています。しかし今回、政治家との関係は、政治家に有利に働くと指摘されており、あってはならないことです。ただ、この問題はマスコミで取り上げられるので、わたしはこの紙面を借りて、宗教とジェンダーの問題を論じたいと思います。

## 寄る辺のない社会

容疑者の母親がのめり込んだ旧統一教会はカルト宗教であり、そうした宗教の信者になる原因は、近代以降、「貧・病・争」といわれてきました。「争」とは家庭内の不和をいいますが、親子や夫婦関係だけではなく、仕事や地域でうまくいかない問題も含みます。そうした問題を抱え、相談できる相手もいなくて孤独で不安な状況になったとき、そこにつけ入る宗教があり、少なくない人たちがそういう宗教に入信しています。

「貧・病・争」の状況は現代にも通じています。近代とまったく同じだとはいえませんが、現代も「取り残されてしまい孤独な状況」「寄る辺のなさ」をつくっている社会であることは確かです。人間の悩みは時代や社会を超えて、いつの世でもなくなることはありません。現代のわたしたちは、コロナ禍という新しい状況におかれています。人間関係がむずかしいし、孤独な状況下に追い込まれやすい社会だといえるでしょう。

こうした状況下で、カルト宗教にのめり込まない道を見いだしていかねばなりません。その道をみつけることは困難ですが、かならずあると思います。

## 日本人の宗教観

ところで、日本人の宗教観は、無信仰といいながら、イベントに宗教性が濃厚であってもあたりまえに参加するという特徴をもっています。例えば、七五三や厄払いは神道で、結婚式はキリスト教で、葬儀は仏教で行うことにも抵抗がありません。それは、日本人の宗教人口に如実に表れています。日本人の宗教人口は、総数183,107,772人(神道系48.6%、仏教系46.3%、キリスト教系1.0%、諸教4.0%) (『宗教年鑑』2020年版)となっており、総人口126,220,000人を超えていました。

上記の宗教事情をあたりまえにすることが、何を意味するかを考えたいです。結論を先取りすれば、「個」の確立をもてない状況をつくっていることになります。そして、そのような状況では、悩みを抱えながら「孤独な状況」や「寄る辺のなさ」に陥ったとき、救いの手を差し伸べられた宗教に安易にはまっていくことが予想されます。

その上、そうした宗教の特徴は、反ジェンダー(反フェミニズム)、ナショナリズム、暴力主義、民族主義、血統主義、家父長制、反性的マイノリティ主義、非科学的世界觀などに基づき、一言でいうなら、反人権思想そのものといえます。「社会に存在する差別をなくす」とか「弱者に寄り添う」といった思想や考え方をもちません。「孤独な状況」や「寄る辺のなさ」の原因を個人や先祖の責任にし、社会の問題にしないのです。孤独な状況から抜け出せるような甘い勧誘に引きずり込むうとするのです。孤独な人は、話を聞いてくれる人の態度に居心地のよさを感じるはずです。

## フェミニズムが問う自立

フェミニズムは、女性差別を解消する理論・運動であり、ジェンダー平等を求める。日本は、ジェンダーギャップ指数が146カ国中116位（2022年度）であり、女性差別の解消が遅れています。女性差別の定義は、「女性差別撤廃条約」（1979年、1985年日本は批准）の第1条に、「性に基づく区別、排除又は制限であって、政治的、経済的、社会的、文化的、市民的その他のいかなる分野においても女子（婚姻をしているかいないかを問わない。）が男女の平等を基礎として人権及び基本的自由を認識し、享有し又は行使することを害し又は無効にする効果又は目的を有するものをいう」と謳われています。

ジェンダーギャップ指数が示す低さは、「区別、排除、制限」である女性差別を検証すれば分かります。「区別」は男女の違いからおこる性別役割分業を女性差別と捉えます。「排除」は、大相撲の土俵の上に上がれない、「大峰山」（奈良県）に登れないといった「女人禁制」に代表されます。「制限」は、今日あまりみられなくなりましたが、2018年に発覚した東京医科大学の女性受験者の入学人数を制限していた事件などがあります。

性別役割分業は身近であり、あらゆる分野に浸透しているので、重大な女性差別です。日本の性別役割分業の強固さがジェンダーギャップ指数を低位にしています。

フェミニズムは4つの自立を主張しました。経済的自立、生活的自立、精神的自立（社会に差別があることを認識し、それをなくすための行動をおこす）、性的自立です。フェミニズムは、4つの自立のいずれかができない状況の人は、支援を受けることをあたりまえと考えます。わたしがフェミニズムに出逢ったとき専業主婦だったので、「生活的自立」は完璧にできていましたが、あとはおぼつかない状況でした。「経済的自立」がもっともできておらず、性別役割分業そのものを生きていました。4つの自立のむずかしさを感じます。



みなもと じゅんこ  
源 淳子さん

## 「精神的自立」と「宗教的自立」

わたしは、日本の宗教を専門にしているので、今回の安倍殺害事件の背景にある容疑者の母親が旧統一教会にのめり込んだことを重要な課題と思いました。日本人の宗教観と重なるし、自立の問題とも重なります。フェミニズムが主張した「精神的自立」は、社会を見極める力だと思いますが、宗教を見極める力にも通じます。自立にちなんで、わたしの造語ですが、「宗教的自立」を提起したいと思います。つまり、「個」の確立をめざすことが重要なのです。宗教的自立とは、信仰（信心）をもつにしろもたないにしろ、宗教を見極める力をもつことです。その宗教が、人権思想に基づいているかどうかを見極める力です。

宗教を見極める力をもつことは、ジェンダー平等を求めることがあります。のめり込んでいく宗教が反フェミニズムであり、反宗教的自立を含めてフェミニズムが主張した4つの自立に反することが分かります。それは、「個」の確立を阻むものです。

## 「個」の確立をめざして

では、「個」の確立と自立した生き方を求めるには、どうすればよいのでしょうか。

わたしは、小さな読書会をしています。ひとりでは生きられない社会で、ジェンダーの問題を語れる仲間が集まっています。わたしは、この仲間にわたしの悩みを聞いてもらったり、哀しみを癒やしてもらったり、どれだけ助けてもらったでしょう。そして、社会のおかしさを怒りながら語り合えます。

こういう小さな輪があちこちにできることが、孤独にしない社会をつくることにつながっていくのではないかでしょうか。こうした輪は、少人数でかまわないと思います。人権思想、ジェンダーの視点をもつ人の輪がつくられていくことを期待したいし、望みたいです。

源 淳子さんには、12月にセンター主催講座でも登壇して頂きます。  
ぜひ、ご参加ください。（講座案内ページ参照）

女性学研究者/世界人権問題研究センター 登録研究員  
島根県生まれ。専門は、仏教、フェミニズム。

仏教をはじめ日本の宗教における女性差別などを中心に研究を続ける。2003年に「大峰山女人禁制」の開放を求める会を設立、奈良県在住の有志とともに活動を続けている。

著書 『フェミニズムが問う仏教』（三一書房 1996年）

『「母」たちの戦争と平和』（三一書房 2008年）

『自分らしい終末や葬儀の生前準備』（あけび書房 2017年）

『いつまで続く「女人禁制」－排除と差別の日本社会をたどる』（編著、解放出版社 2020年）

『仏教における女性差別を考える』（あけび書房 2020年）

# おすすめ図書

## 仏教における女性差別を考える 親鸞とジェンダー

2020年・あけび書房



「おすすめ図書」は、図書館員が選定した、今注目すべき本を紹介するコーナーです。

## 親が子どもになるころに てんてん、介護問題に直面す。

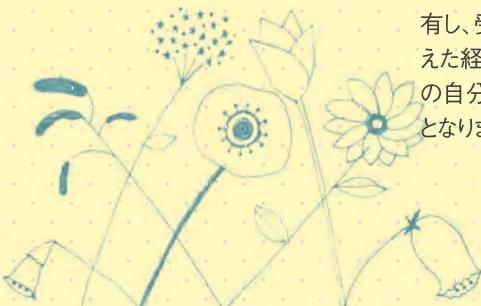
2022年・創元社



今まであまり語られてこなかった仏教の中にある女性差別を、仏教研究者である筆者が自身の様々な経験を通して論じた一冊。2018年に起きた東本願寺ギャラリー展での女性差別問題の一部始終を当事者ならではの目線で書いた第1章や、自立して信仰と向き合う「宗教的自立」を説いた第6章など、宗教の中で古くから説かれてきた女性差別について考える。

〈第2の親子関係〉の始まりである介護を描いたコミックエッセイ。今まで守ってもらう存在だった父親が、できることがだんだん少なくなり中学1年生の少年のようになっていく。少し切なく、どこか可笑しい親子の関係性の変化を『ツレがうつになります。』の細川貂々さんがコミカルに描く。

# 講座・ イベント レポート



## 8月4・18日(木)10:00~11:30 夏休みを、元気に過ごすための ココロワークショップ

荒木美恵さん(臨床心理士)

学校で無視された時やいじめを見聞きした時、SNSで悪口を書かれた時はどう感じたのか、皆で考えました。自分のことを知らない人の前で話すことは大変緊張することですが、悩みを共有し、受け入れてもらえた経験は、これから自分の自分を励ます自信となりました。



図書・情報スペースでは、男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をサポートする情報を収集し、発信しています。  
図書貸出は、ひとり3冊・2週間までです。

## 「自分らしさ」と日本語

2021年・筑摩書房

中村桃子 著



ふだん何気なく使っている「ことば」が、いかに私たちのアイデンティティを表現しているかを読み解く。「小中学生の女子の中に『オレ』『ぼく』といった一人称を使う子がいるのはなぜ?」「なぜ洋画に出てくる女性のセリフは私たちの話し言葉とは異なったことばで翻訳されるのか?」など、ことばと〈その人らしさ〉の関係性を明らかにする一冊。

ソロプロチ文庫から

## カナリヤ手帖 ちいさな雑貨屋さんのつくり方

2005年・西日本出版社

トノイケミキ 著



勤めていた会社を辞め2002年に大阪・西天満に「カナリヤ」という雑貨店をオープンした著者が、店を開業する手続きから続けていくまでのあれこれを解説。お店を開きたい人や何か始めたい人には実用的なノウハウを、雑貨が好きな人にはワクワクする雑貨を見ることができる。

## 8月6・27日(土)10:00~12:00 おせいさんからの応援歌 ~夢をキーワードに読み解く田辺聖子作品~

石野伸子さん(元産経新聞大阪本社編集委員)

女性として社会の抑圧と闘いながら、戦中・戦後の同時代を生きた人のためにも「戦争」を書き記し、「夢見小説」と評される作品にも反逆の芽を潜ませていたことなど、おせいさんの作品に残された多くのメッセージに触れることが出来ました。



# 相談案内

## 男性のための 悩み 電話相談

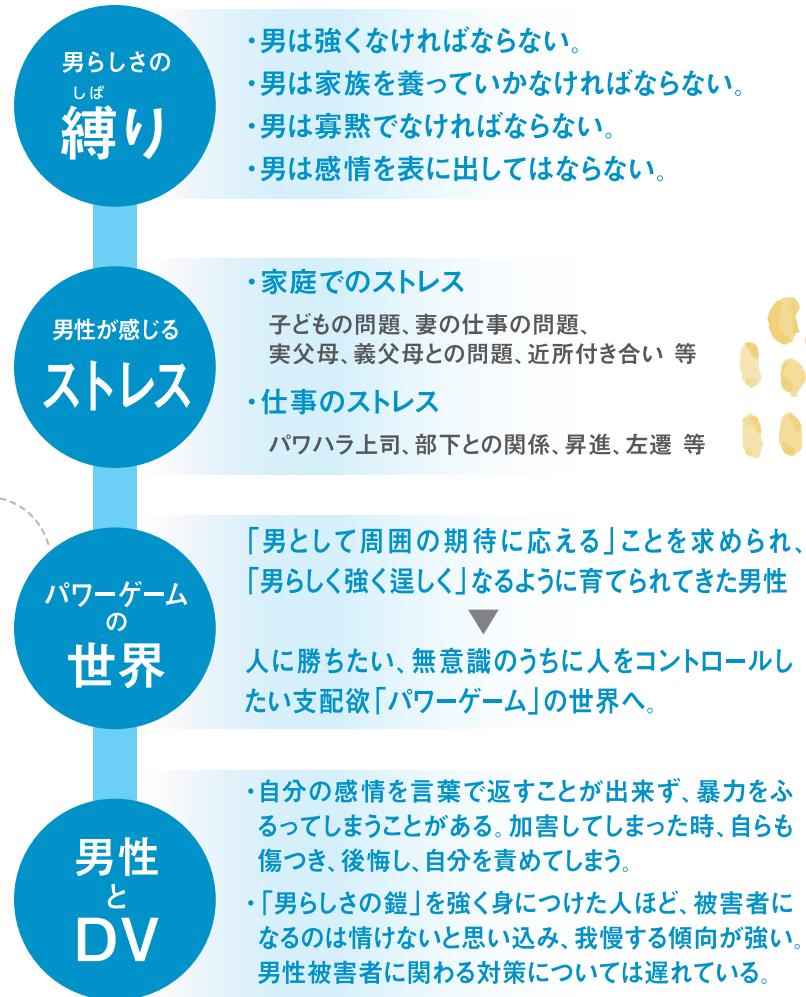
第1土曜日 午後3～6時

tel.072-781-5532



「生き方に不安を感じる」、「職場の人間関係がうまくいかない」、「パートナーとの関係について聞いてほしい」といった悩みに男性の相談員が答える男性のための悩み電話相談。

男性が抱える悩みとは？ 辛くとも相談しづらいのはどうしてか？ 一般社団法人日本男性相談フォーラム相談員の福江敬介さんにお聞きしました。



### パワーゲームからの脱却＝ ワークライフバランスの実現

他者との競争は、終わりのない世界。それよりも、競争ではない、様々な働き方や生き方を実現できる世界＝ワークとライフのバランスのとれた世界へ向かうことをめざしませんか。パワーゲームから降りるということは、人生の敗者ではなく、人間らしい真の自己実現の世界へ向かうことなのです。

2022年10月1日男性セミナー  
「男性が抱える悩みとは」より



8月7日(日)13:30～15:30

はじめてのCAPワークショップ～小学1・2年生対象～

NPO法人女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

CAP(Child Assault Prevention)とは、子どもが暴力から自分を守るために人権教育プログラムです。“おとな”と“こども”に分かれてのワークショップで、生きるために必要な3つの権利(安心・自信・自由)や、いじめ・虐待・誘拐など子どもへの暴力に対してどのように対応するかを具体的なロールプレイを通じて学びました。親子での参加が多く「子どもに早くから知っていてほしいことなので、受講できて良かった」という感想が寄せられました。



ここいろ市民ネット会議

### “ここサークル” メンバー募集中！

伊丹市在住・在勤・在学・市域で活動する個人またはグループで、ジェンダー平等の推進を目指す方であれば、どなたでもメンバーになることが出来ます！ 皆さんのご参加、お待ちしています。



メンバー登録  
はこちらから



# 講座案内

「性別に関わりなく、誰もが自分らしく生きられる社会づくりの拠点」施設として、男女共同参画の学習を目的とする講座を実施しています。

## ここいろカフェ



お茶を飲みながら、一緒に語り合いませんか。  
テーマを設けてファシリテーターが進行します。

定 員：各回10人（お子さん連れの参加も可）  
参 加 費：無料 申 込 み：電話・窓口で受付（先着順）

日 時	テーマ	受付開始
11/20（日）10:00～11:30	子どもの権利を考えよう	11/1（火）～
2/19（日）10:00～11:30	「女性ならではの視点」って？	1/15（日）～

## ジェンダー平等への問い合わせ

女性セミナー

かつては、明治民法によって定められていた女性の生き方。廃止された制度が、「伝統」や「しきたり」として、今も大きく影響しています。歴史の中で、女性はどのようにみられ扱われてきたのか振り返りながら、ジェンダーギャップ（男女格差）の解消をめざしていっしょに考えてみませんか。

12/2.9.16（各金曜日）  
13:30～15:30  
[3回講座]

①	12/2（金）	歴史からみる女性たち ～現代の女性たち～	源 淳子さん (女性学研究者)
②	12/9（金）	歴史からみる女性たち 古代～近代の女性たち	
③	12/16（金）	歴史からみる女性たち ～近代の女性たち～ ジェンダー平等をめざして	

対 象：テーマに関心のある女性 20 人  
参 加 費：無 料  
一時保育：6 人（1 歳～就学前まで、一人につき 1 回 300 円、要予約）  
申 込 み：11/1（火）9:00～ 電話・窓口・センター HP で受付（先着順）

## 映画から学ぶジェンダー 映画上映「リトル・ガール」とトーク

生き方UPデート講座

自分の性別に違和感を覚え、女の子になりたいと願う 7 歳のシャンと、その家族や周囲を追ったドキュメンタリー映画「リトル・ガール」を上映します。  
(2020 年 / フランス / 85 分 / 日本語字幕版上映)

対 象：テーマに関心のある方 20 人  
参 加 費：無料 自由席（開場 17:30～）  
申 込 み：11/1（火）9:00～ 電話・窓口・センター HP で受付（先着順）

12/3（土）

18:00～20:00

トーク・進行 田上 時子さん  
(NPO 法人女性と子どもの  
エンパワメント関西理事長)

## 座って出来る椅子ヨガ&気づきの瞑想 マインドフルネス

いつでもどこでも、身体を動かすのが苦手な人、どんな年代の方も無理なく実践できる「椅子ヨガ」。マインドフルネスを取り入れ、ストレスへの対処法や、リラクゼーション法も学びます。 テーマ：「心に気づく」

対 象：テーマに関心のある方 15 人  
参 加 費：無 料  
一時保育：6 人（1 歳～就学前まで、一人につき 300 円、要予約）  
申 込 み：12/1（木）9:00～ 電話・窓口・センター HP で受付（先着順）

12/22（木）

10:30～12:00

講師 富田 あかりさん  
(ヨガインストラクター)

## 未来を拓く女性のためのライフ・キャリア&マネープラン

女性のための就労支援セミナー

女性の人生に起こりうるリスクや転機を見据え、改めてライフプラン・キャリアプランを見直してみましょう。お金と仕事にまつわる疑問を解消し、これからの夢や希望の実現をめざします。

1/14.21.28（各土曜日）  
14:00～16:00  
[3回講座]

①	1/14（土）	知りたいお金の話	福 由紀さん (ファイナンシャル プランナー)
②	1/21（土）	私のライフプランを考える	
③	1/28（土）	立ててみよう キャリアプラン	

対 象：テーマに関心のある女性 20 人  
参 加 費：無 料  
一時保育：6 人（1 歳～就学前まで、一人につき 1 回 300 円、要予約）  
申 込 み：12/1（木）9:00～ 電話・窓口・センター HP で受付（先着順）

男性セミナー

## ここいろ☆ぱぱサロン 子育てを語ってみよう

速さや効率が求められる仕事と違うのは、子育ての世界には「正解がない」こと。  
今まで誰とも話したことのない「パパの子育て」について、思いを語ってみませんか。

対象：子育て中の男性 15人

参加費：無料

一時保育：6人(1歳～就学前まで、一人につき300円、要予約)

申込み：12/1(木)9:00～電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

1/15(日)

10:00～12:00

講師・進行役 福島 充人さん  
濱田 智崇さん  
新道 賢一さん

男女共同参画推進セミナー

## “おとうさん”の子育て～シングルファーザーになって13年生からのメッセージ～

がん宣告から12日後の妻との死別により、3人の子を育てるシングルファーザーに。家事・子育ては全く出来ず、相談する場もなく苦労したことからNPOを設立した木本さん。反抗期が酷かった次男、反抗期進行形の三男。家のルールが守れない3人。ちょっとずつ前に進みながら、埋もれている父子家庭のリアルな現状を発信します。

対象：テーマに関心のある方 20人

参加費：無料

一時保育：6人(1歳～就学前まで、一人につき300円、要予約)

申込み：1/4(水)9:00～電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

2/5(日)

10:00～12:00

講師 木本 努さん  
(NPO法人  
京都いえのこと勉強会 理事長)

事業者対象講座

## “女性の力”を会社の資源に。

女性特有の月経随伴症状などによる労働損益は4,911億円。女性の更年期離職による経済損失は、年間およそ4,200億円との試算があります。女性が心身ともに健康で長く働き続けることが出来る職場環境を整えることは、誰にとっても働きやすい職場であり、優秀な人材確保にもつながります。ワークショップ形式で課題を共有しながら見直してみませんか。

対象：事業者、テーマに関心のある方 20人

参加費：無料

一時保育：6人(1歳～就学前まで、一人につき300円、要予約)

申込み：1/4(水)9:00～電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

2/10(金)

13:30～15:30

講師 和田 聖子さん  
(株式会社HANAEMI 代表取締役)

就労支援セミナー

## 情報を力に！スタート！私のお仕事探し

自分のライフスタイルや目標にあった働き方を見つけませんか。就職活動にまつわる不安や悩みを解消し、これからの可能性を広げ、新しいチャレンジを応援します。

対象：テーマに関心のある女性 15人

参加費：無料

一時保育：6人(1歳～就学前まで、一人につき300円、要予約)

申込み：1/16(月)9:00～電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

2/16(木)

10:00～12:00

講師  
ハローワーク伊丹マザーズコーナー  
就職支援ナビゲーター

## 予告 ここいろ ミモザの日

\*詳しい内容は、ちらし・センターHPでお知らせします。

毎年3月8日は国連が定めた「国際女性デー(International Women's Day)」で、「ミモザの日」とも呼ばれています。  
ここいろでは、2023年3月5日(日)に「ここいろミモザの日」を開催します。

防災ワークショップ  
[イタミライフキーパー]

SDGsブルキナファソと  
つながる [BYCS]

フードバンク  
[食deつながる]

講演・トーク月経の人類学  
[杉田 映理さん]

音楽と工作 ワークショップ  
[行灯社]

伊丹市男女共同参画  
オンブード報告会

参加費：無料

申込み：2/1(水)9:00～電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

パネル展示  
「アフガニスタンの  
女性たち」

2/1(水)～3/5(日)まで  
フリースペースにて

協力：  
宝塚アフガニスタン友好協会

# ここいろ

愛称『ここいろ』は、  
一人ひとり(ここ=個々)が  
自分の色(いろ)を彩ることのできる  
拠点施設であることを願って、  
公募で名付けられました。

伊丹市立  
男女共同参画センターは  
SDGs を支援しています

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



目標 5( ジェンダー )  
ジェンダー平等を実現しよう

## 開館時間

月～土 午前9時～午後9時  
日曜日 午前9時～午後5時30分  
＊日曜日は月2回のみ開館  
第1・3日曜日(1・5・8月除く)

## 休館日

日曜日(第1・3日曜除く)、祝日  
年末年始(12/29～1/3)

## アクセス

阪急伊丹駅から徒歩約7分/JR伊丹駅から徒歩約8分  
お車でお越しの際は、宮ノ前地区地下駐車場(有料)等をご利用ください。



## 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ

### 指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西  
〒664-0895 伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商工プラザ5階  
電話: 072-781-5516  
FAX: 072-781-5530  
<https://www.itami-kokoiro.jp>